

自身が書いた「侍魂」の書の前で、笑顔を見せる康彦さん。



地元にも古くからある建物を残し 後世に伝えていきたい



片平丁・旧大沼家侍住宅管理人。現在は、町からの指定管理を受けている「城内町並み保存会」の会員として、同侍住宅の管理を担当している。趣味は電子楽器等を使った音楽作り、ツーリング、猫と遊ぶこと。

▶「習字体験」(東北デスティネーションキャンペーン)

- 住所 片平丁・旧大沼家侍住宅 (西根達小路 31-2)
- 電話 ☎ 0197-42-5010 (火・水休み)
- 料金 2,000円 (2日前までに要予約)
- 開催期間 9月30日(木)まで (新型コロナウイルス感染症対策のため、変更となる場合があります)

「古い建物を壊すのは簡単だが、一度壊してしまうと元に戻せない。昔っぽい建物は作られるが、昔からある建物は残していきたい」と話す康彦さん。

地元である城内・諏訪小路地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことをきっかけに、平成18年から片平丁・旧大沼家侍住宅の管理をしている。

生まれも育ちも、そしてこれからも「ここ」に住む人間として、携わってきたいと考えていた。保存地区に選定され、同侍住宅が公開住宅として運用されるにあたり、管理を始めた当時は、本当に人が来るのか不安もあったという。管理を始めて15年、当時に比べて地元には町外から人が訪れるようになった。幼い頃から地元に住む住民として、よそに恥ずかしいところは見せられないと話す。

侍住宅を管理しているおかげで、正月、ひな祭り、七夕など、昔から日本にある四季折々の文化を楽しめるようになった。そこに近所の子どもたちが遊びに来るようになり、その子どもが親たちとも触れ合うことができるのが楽しいと目を細める。

東北デスティネーションキャンペーンでは、片平丁・旧大沼家侍住宅で習字体験を行っている。「昔は墨と筆で人に想いを伝えていた。築200年以上の特別な場所で、ぜひ習字の体験をしてもらえれば」と呼びかける。

広報日記



広報担当2年目となりました。本年度もどうぞよろしくお願ひします。3月過ぎから暖かい日が続き、役場前の町民いこいの広場の桜も開花しました。2年前、中国長春市へ派遣されていた頃、日本の桜を見たくなったのを思い出しました。なかなか遠くに外出するのは難しいこの頃ですが、町内にも桜がきれいな所はたくさんありますので、密を避けながら花見もいかがでしょうか。(村口)

お詫びと訂正

広報かねがさき3月号に誤りがありましたので、お詫びして次のおり訂正します。

■訂正 10頁「一般会計(歳出の表)」

正 支出済額
誤 収入済額

人口と世帯

3月31日現在

※()内は前月比

人口	15,479人	(- 29)
男	7,944人	(+ 13)
女	7,535人	(- 42)
世帯数	6,193世帯	(+ 45)